A498□胞

300113

A498□胞は、58歳の白人男性の腎臓組織由来のヒト腎 □胞癌□胞株である。この□胞は腎臓癌に関する研究、特に成人の腎臓癌の中で最も一般的なタイプである明 □胞腎□胞癌の研究に広く用いられている。

A498□胞株はその上皮様形態を特徴とし、腎発癌の分子および □胞メカニズムを研究するための貴重なモデルとなってきた。これらの□胞は、□胞周期の調節、アポトーシス、血管新生に関与する遺伝子の発現の変化など、腎臓癌に典型的ないくつかの特徴を示す。

A498□胞は、脂質代謝とグルコース代謝の変化を含む独特の代謝プロフィールを示すため、腎臓がんで変化する代謝経路を調べるのに特に有用である。この側面から、代謝経路を変えることで腫瘍の成長をどのように阻害できるかを探る代謝標的研究に適している。

さらに、A498□胞は、新しい化学療法剤や標的療法の有効性を試験するための創薬研究や毒物学研究にも用いられている。 A498□胞株はまた、低酸素状態に対する腎癌 □胞の反応を研究するためにも使用される。低酸素状態は固形癌によく見られる特徴であり、腫瘍の挙動や治療効果に大きく影響する。

全体として、A498□胞株は腎癌研究において不可欠なツールとして機能しており、より効果的な治療戦略の開発を促進し、腎癌生物学に対する理解を深めている。

概要

□明

A498□胞は、58歳の白人男性の腎臓組織由来のヒト腎 □胞癌□胞株である。この□胞は腎臓癌に関する研究、特に成人の腎臓癌の中で最も一般的なタイプである明 □胞腎□胞癌の研究に広く用いられている。

A498□胞株はその上皮様形態を特徴とし、腎発癌の分子および □胞メカニズムを研究するための貴重なモデルとなってきた。これらの□胞は、□胞周期の調節、アポトーシス、血管新生に関与する遺伝子の発現の変化など、腎臓癌に典型的ないくつかの特徴を示す。

A498□胞は、脂質代謝とグルコース代謝の変化を含む独特の代謝プロフィールを示すため、腎臓がんで変化する代謝経路を調べるのに特に有用である。この側面から、代謝経路を変えることで腫瘍の成長をどのように阻害できるかを探る代謝標的研究に適している。

さらに、A498□胞は、新しい化学療法剤や標的療法の有効性を試験するための創薬研究や毒物学研究にも用いられている。 A498□胞株はまた、低酸素状態に対する腎癌 □胞の反応を研究するためにも使用される。低酸素状態は固形癌によく見られる特徴であり、腫瘍の挙動や治療効果に大きく影響する。

全体として、A498□胞株は腎癌研究において不可欠なツールとして機能しており、より効果的な治療戦略の開発を促進し、腎癌生物学に対する理解を深めている。

ティッシュ	腎臓
病気	腎□胞がん

同義語

- A-498

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで。未分化癌を形成し、抗胸腺 □胞血清処理した新生マウスでも腫瘍を形成する。
倍数性	2倍体、4倍体
MSIの状態	安定（MSS）
倍増時間	62時間

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

A498 (Cytion カタログ番号 300113)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1056

発現と感受性

アイソザイム

PGM3 ′ 1 ′ PGM1 ′ 1-2 ′ ES-D ′ 2 ′ Me-2 ′ 1 ′ AK-1 ′ 1 ′ GLO-1 ′ 2 ′ G6PD ′ B

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w: 2 mM L-グルタミン、w: 2.2 g/L NaHCO3 ′ w: EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37°C ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	10^4□胞/cm^2の密度で播種すると、4日以内に単層が密接に形成される。
流体の更新	3日ごと
解凍後の回復	解凍後、□胞を2×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24～48時間行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	52年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB